

巨門ガッパの親父

最終話



文・絵 佐々岡健次

前回のお話しは…

自分が子どもの頃「牛が暴れだし、運悪くその牛に蹴飛ばされて先代の人を命を落とした」と、父から聞いた。父の代になり、ここへ牛をつれて来て田んぼを耕そうとしたら…というところでしたね。では、続きをどうぞ！

出たな！

牛が目をむいて動かなくなったため、父は「こんな、出やがったな！」と腰に持っていた鎌で十字を切ったら墳丘墓付近から『ボチャン』と音がした…と云う。カッパは「金気」を嫌うからそばの川の中に逃げたのだろう、と云う。その時は、それで収まったが、どうもまだ成仏することなく死んだのちも牛に執着して害を成そうと悪霊になって、この辺をウロウロしているのかも知れん…と父は話していたと云う。

どこかに牛…

そんな話を兄さんから聞いて、私はあらためて時々その場所を時々訪ねる事がある。

「死霊の存在を確かめたい！」、「私に牛が居たら、この場所に連れて来たい。」と思うようになったのです。そして、もし牛が目をむいて動かなくなったらどうしようか…とかってに心配しながら時々そこを訪ねるのです。

思い…

そんな話をして下さった兄さんも、亡くなったと聞きました。「合掌」…。私はこの話をこれからも伝え後世に残して置きたいと思うのであります。



サウスカロライナ州への家族旅行

文・写真 教子ウイムセット

皆さま、こんにちは！ウイムセット家は、子どもたちの1週間ある春休みに合わせ、サウスカロライナ州マートルビーチ市へ来ています。ナッシュビル市から車で片道9時間はかかるのですが、我が家は2回目の滞在になるほど、この街がとっても気に入っています。



その理由の一つは、マートルビーチの海が穏やかで美しいからです。大西洋の砂浜は、サラサラしていて白く、日光浴のためだけに訪れる人も多いです。



また、地元に住んでいる人々は親切で友好的な方が多い印象です。外ですれ違う人は、必ずハイ！こんにちはと挨拶しますし、すぐに打ち解けあって仲良くなれます。

さらに、この街にあるビーチは、犬と一緒に浜辺を歩ける場所が多いです。他の州では、海岸や浜を犬が歩くことを禁止しているところもありますが、ここではレストランや洋服屋さんにも犬を連れて行くことが可能です。

最後に、ご飯が非常においしいです。特に、海鮮料理が新鮮なため、美味しい魚介類を食べることができます。



子どもたちが成長すると、家族で旅行できる日も少なくなるでしょうから、できるだけたくさん思い出に残る時間を一緒に作りたいと思っています。残り3日間しっかり楽しみますね!!